

# 平成22年度いわき地方農業技術情報(第8号)



平成22年 9月 3日

福島県いわき農林事務所

平成22年8月31日に、仙台管区気象台から「高温に関する異常天候早期警戒情報(東北地方)」が発表されました。

(8月31日発表)

東北地方では、9月5日頃からの1週間は、気温が平年よりかなり高くなる確率が30%以上となっています。また、この状態は9月8日頃からの1週間まで継続する見込みです。

## 【 水稻の適期刈取 】

### 1 成熟期の予想

本年は水稻の出穂期が早まりましたが、8月に入り出穂後も記録的な高温に経過し、登熟はさらに早まり、いわき地域での成熟期(刈取適期)は、平年より7~10日程度早まると予想されます。

刈り遅れは胴割粒や着色粒の発生要因となります。適期刈取と適正な乾燥調製につとめ、高品質な玄米に仕上げましょう。

### 2 適期刈り取り

適期刈り取りは、積算気温950 に到達した日から1100 までを目安としますが、実際にはほ場の籾の黄化状況で判断して下さい。

品種別目安	早生品種(ひとめぼれ等)950	中生品種(コシヒカリ)1000 前後
-------	-----------------	--------------------

\*本年のいわき地域での出穂状況：始期(5%)8/4、盛期(50%)8/8、終期(95%)8/16

籾の黄化状況による判断

1穂の籾の約85~90%が黄化し、活青籾がやや残っている状態が適期刈り取りの目安です。

#### 刈り取り時の注意点

- (1) 刈り取りは、朝露が無くなった午前10時頃から始めましょう。
- (2) 刈り取り後、籾袋に入れたまま長時間放置しておくとう着色米の原因になるため、早めに乾燥機に入れ通風しましょう。
- (3) 倒伏した稲は、穂発芽粒や青未熟粒が多く混入し、品質が低下するため、刈り分けします。  
倒伏した圃場では、早期に落水し、穂発芽する前に刈り取ってください。
- (4) カメムシ類の被害が予想される場合は、事前に  
籾摺りを行い被害粒が見られる場合は、他のほ場の籾と混合しないようにしましょう。
- (5) 刈取り晩限は、積算気温で概ね1,200 を目安にします。なお、積算気温1,200～1,300 を超えると薄茶米（着色粒）が混入したり、胴割粒が発生しやすくなり玄米の検査等級が低下しやすくなります。